

平成31年第1回川西市議会定例会（3月） 総括質問事項

総括質問日 （2月27日・28日）

1. 市民クラブ “改革の風” （質問者 津田加代子）

1. 「事業を止める理由を探すのではなく、実施し続ける理由を説明していく行政運営」について
2. 「新たな社会に的確に対応するまちづくり」について
3. 新たな川西モデルの構築について
4. 子どもたちが人生で最高のスタートを切れるように、学びや自主性を育てる環境を整えることについて
5. 「川西を変える」こと、それは、川西の何を、いつまでに、どのように、なぜ、変えるのか、変えたいのかについて
6. 「証拠に基づく政策立案（EBPM）」とこれまでの違いについて
7. 空き家の除却後の対策について
8. 黒川地区における市と県の連携について
9. 山原地内の多目的広場整備について
10. 平成31年度以降の市に直接の医療従事者が不在になることについて
11. 中学校給食実施の準備段階で確実に議論を交わしてほしい内容について
 - アレルギーの対応について
 - 牛乳献立は当たり前とすることについて
 - 小学校自校炊飯と同様にしていけること、していけないことについて
 - 各中学校での配膳室・エレベーター設置の各校での工事対応について
 - 小学校の夏期休業中の留守家庭児童育成クラブの昼食をつくれるのかについて
 - 実施をしていくことで、これまでの中学校の生活時間との関連について
12. 子どもたちが企画する、学校を中心とした魅力的なまちづくりの提案について
13. 外国語指導助手（ALT）の増員について
 - どういう形の増員となるのか
 - 実施されたことからの評価について
 - 外国人となるので、日本の英語助手の方々について
 - 児童にとって
 - 教員にとって
14. タブレットPCの試験的導入について
15. 「（仮称）PTAあり方検討会」について

16. 2020年教育の再編にあたり、川西の公教育で担っていくべき内容について
17. 子どもの居場所づくりの方向性について
 - 子どもの実態調査から見えた分析・内容について
 - 市としての具体的取り組みについて
18. 猪名川町との連携協定について
19. 「(仮称)ふるさと支援金」の具体的な仕組みと導入時期について
20. 参画と協働のまちづくり推進会議で、試行的に公募委員として、40歳未満の若者枠を設けることについて

2. 明日のかわにし

(質問者 小山敏明)

1. 市長としての決意について
 - 当会派の予算提案書に対する所感について
2. 予算編成方針について
 - 何を重点的に予算編成に反映したのか
3. 新年度の行財政運営について
 - 重点推進事項と推進体制について、いつ頃を目途とするのか
 - 市立川西病院の指定管理者による運営に対する現状の見通しについて
 - 市立川西病院から一般行政職員となる職員が活躍できる環境をいかに整えるのか
 - 指定管理者である医療法人に転籍する職員に対する就労支援金の終了後、何年間を担保期間とするのか
4. 将来に向けたまちづくりについて
 - 子どもと育てる親が笑顔で生活できる社会の具体的な構想について(こども未来プロジェクト)
 - みんながわくわくできるまちの具体的な構想と条件整備について(まちの魅力向上プロジェクト)
 - 誰もが安心して最期まで自分らしく生きていくまちの実現について(いきいき健康プロジェクト)
5. 「暮らし」について
 - オールドニュータウンにおける地域課題解決の効果確認と事業の見直しに対する所見について
 - 空き家に係る固定資産税額の負担に対する見解について
 - 上下水道及び道路網のマッピングシステムを統合することによる業務体制の

改革について

産業ビジョンにおける雇用創出やコワーキングスペース整備等の取り組み体制について

6. 「安全安心」について

現市立川西病院の跡地活用に係る施設誘致を早期に示す考えについて

定期健診受診時に検便キットを配付しがん検診を組み込むことについて

第3期中心市街地活性化計画におけるアステ川西周辺商業ゾーンとキセラ川西にオープンする大規模集客施設との共存・繁栄の見通しについて

7. 「生きがい」について

中学校給食実施を機に先進的なアレルギー対応を拡大する考えについて

保育料無料化の動きの中での施設整備と特徴ある取り組みを推進する考えについて

8. 行政経営改革大綱について

各事業のコンサルティング契約や委託契約のあり方を見直す必要性に対する認識について

3. 川西まほろば会

(質問者 西山博大)

1. 市政運営における市長の基本姿勢と決意について

財政健全化条例制定により終わらせようとする事業とその判断基準について

Society 5.0 実現の一方で高齢者に対し行政が整備しなければならない事柄について

2. オンデマンドモビリティサービスの試験的導入について

いかに地域が活性化されるのか、利便性・経済性の視点での市長のビジョンについて

オンデマンドモビリティサービスにより今後なくなると想定されるものについて

3. 新名神高速道路周辺のまちづくりについて

高架下の公園整備と公園以外に新年度に取り組もうとする内容について

4. 大和地区と豊能町光風台地区をつなぐ道路について

両地区が合意に至った経緯と開通の付帯条件について

具体的な整備内容や完了時期のほか開通により期待される効果とデメリットについて

地元住民への説明など調整状況について

- 5 . 現市立川西病院の跡地活用について
北部診療所以外の跡地活用策について
川西市ならではの画期的な工夫を施し、ここを拠点として多くのことを発信していくことに対する考えについて
地元住民をはじめとする市民意見の反映方法について
- 6 . 認知症高齢者の徘徊等に関する対策の検討状況について
徘徊SOSネットワークにおける連絡体制に対する現状認識について
- 7 . 大規模災害の備えについて
今後の対策における市長の考え方について
- 8 . 学校と地域住民が協働した協議を行うモデル校の実施について
想定している協議内容と具体的な実施方法について
期待する効果と全校実施に向けた今後のスケジュールについて
- 9 . 子ども食堂などの居場所づくり支援について
各地域における取り組みの現状について
実施に向けた地域住民との連携について
- 10 . 待機児童の解消について
- 11 . 高齢者の居場所づくりについて
本市における拠点の把握状況など現状認識について
今後の展望について
- 12 . 「（仮称）ふるさと支援金」について
具体的な取り組み内容について
地域一括交付金など現行制度との関係性について
- 13 . 猪名川町との包括連携協定について
連携により取り組もうとしている事業分野について
猪名川町における大型物流施設誘致に伴う雇用創出を本市北部地域における空き家対策等のまちづくりに生かす考えについて
- 14 . 「テーマ型タウンミーティング」について
テーマの設定方法など具体的な進め方について
市長が選挙公約として掲げていたタウンミーティングにあたるのか
市長自身が実施するタウンミーティングとの違いについて

4 . 公明党

(質問者 平岡譲)

- 1 . 「市長としての決意」について
市政を変えることに対する市民への対応と市民が対応できる施策について

- 大きな改革の柱である「市民への情報公開と説明責任の果たし方」について
- 2 . 「新たな時代の幕開け」について
新たな社会に市民が適応できる体制づくりについて
 - 3 . 新年度の行財運営について
積極的に民間活用と自治体連携を取り組むことについて
全事業を再検証する目的と目標について
財政健全化条例を制定する目的について
 - 4 . 平成31年度(2019年度)の主要施策について
オンデマンドモビリティサービスの試験的導入について
矢間・東畦野地内における雨水幹線管渠築造工事について
第3期中心市街地活性化基本計画を策定する意義について
プレミアム付き商品券発行に伴う、対象者や手続き等の周知方法について
新病院への経営評価委員会の関わり方と市民モニター制度の概要について
保健センターによる胃カメラ検査と市内医療機関による胃がん検診について
部活動運営への指導員の配置とICT部活動支援の導入の効果について
幼児教育無償化に対する市の見解と県保育料軽減事業の拡充状況について
(仮称)ふるさと支援金の創設について
テーマ型タウンミーティングの実施と効果について
新たに民間の法人へ職員を派遣することについて

5 . 日本共産党議員団

(質問者 北野紀子)

- 1 . 憲法の精神に則り、住民福祉第一の市政運営に取り組むことについて
憲法の精神に則った市政運営に取り組むことについて
社会情勢に対する所感及び民の命と暮らしを守る立場で国に対して意見を述べることについて
Society 5.0について
全体の奉仕者として公務員の役割を發揮できる職場を作ることについて
- 2 . 地域経済活性化で暮らし続けることができるまちづくりについて
住宅リフォームや店舗リニューアル助成制度を創設することについて
中小企業・小規模企業振興条例を創設することについて
高齢者の移動手段を確保することについて
高齢者おでかけ促進事業を復活することについて
- 3 . 安全・安心のまちづくりについて
(仮称)川西市総合医療センター基本構想(案)について

防災対策の強化について

4 . どこに住んでいても子どもたちが大切にされ、健やかな成長を保障されるまちづくりについて

中学校給食は、自校調理方式でよりよい給食をめざすことについて

学校給食の無償化をめざすことについて

子どもの医療費は中学校3年生まで無料にすることについて

小学校、中学校などに電車やバスで通う子供への通学補助を行うことについて

幼児教育の無償化について、給食費も含めすべての子どもの教育無償化をすることについて

タブレットPCやアラート機能付きICT機器を導入することについて